

小細胞肺癌に対する経皮的超音波ガイド下生検と気管支鏡検査 —初診から検査・治療開始までの期間の検討—

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

小細胞肺癌(SCLC)は進行が早く予後不良であり、初診から治療開始までの遅れを最小化することが重要です。経皮的超音波ガイド下生検や気管支鏡検査は肺癌の診断によく使用される検査であり、当院ではそれぞれ20-30件/年、400件/年行っています。当院で経皮的超音波ガイド下生検または気管支鏡検査を用いてSCLCと診断された症例における初診から検査・治療までの期間を検討することは意義のあると思われま

す。本研究では、経皮的超音波ガイド下生検または気管支鏡検査を用いてSCLCと診断された症例において初診から検査・治療までの期間を後方視的に検討します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

・2020年1月～2024年12月に経皮的超音波ガイド下生検または気管支鏡検査でSCLCと診断された症例

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、ステージ、転移病巣、穿刺部位、初診日、検査日、診断日、治療開始日など

使用開始予定日：2026年1月20日

研究予定期間

2026年1月20日～2026年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 呼吸器内科 斉藤漸太郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 呼吸器内科 斉藤漸太郎

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)